

1号機屋根パネル解体作業中の 飛散防止剤散布貫通孔の拡がりについて

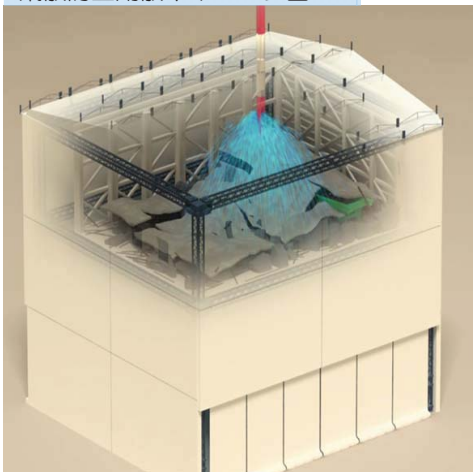
平成26年10月30日

東京電力株式会社



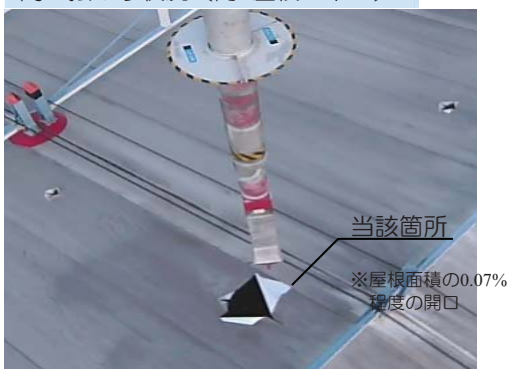
1号機屋根パネル解体作業中の飛散防止剤散布貫通孔の拡がりについて

飛散防止剤散布イメージ図



発生日時：平成26年10月28日 8時23分頃
発生場所：1号機原子炉建屋カバー屋根パネル
発生警報：なし(モニタリングポスト、ダストモニタに有意な変動なし)
発生状況：屋根パネル貫通部での飛散防止剤散布中に散布装置が風で煽られ、貫通ノズル部が横方向に動き、貫通散布孔が目視で1m×2m程度の三角形に拡がった。
飛散防止剤散布開始時点の風速は2m/s程度。
飛散防止剤散布中に風が強くなってきたことから作業を中断し貫通ノズル部を引き抜いている最中に貫通孔が拡がった。
対応：今回、1m²程度の貫通孔拡大で放出量評価に与える影響は少ないことを確認。
拡がった貫通孔の対応策については、現在検討中。

開口拡がり状況（南2屋根パネル）



時系列：5:58 実施可否判断〔実施可〕
(天候 晴れ、風向・風速 **南西の風1.0m**)
6:18 飛散防止剤散布装置玉掛け開始
6:28 飛散防止剤散布開始 **平均風速2～3m/s**
7:26 飛散防止剤散布機へ飛散防止剤の補充
8:15 飛散防止剤散布開始 **平均風速2m/s**
8:23 突風により散布装置が煽られ、貫通ノズル部が横方向に動き貫通孔が拡がった。 **瞬間風速18m/s**
9:20 モニタリングポスト、ダストモニタに有意な変動がないことを確認(8:20頃から9:20まで)

